

さいたま市長メッセージ（令和3年3月16日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市では、3月14日までの1週間で2,865件の検査を実施し、150名の新規陽性者が確認されました。また、市内の全療養者の合計は14日時点で336名となり、いずれも、先週より増加しています。埼玉県の病床使用率も、約39.7%で、ステージ3の基準を超えています。

引き続き、お一人お一人が気を緩めることなく、感染症対策に取り組んでいただくようお願いいたします。

さて、3月は卒業式の季節でもあります。本市では、感染症対策を徹底した上で、市立学校等の卒業式を執り行うこととしています。この春ご卒業される皆様と、その保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

この一年間、子どもたちには、様々な学校行事の中止や縮小、マスクの着用等の感染症対策など、大変な我慢をお願いしてきました。保護者の皆様にも多大なご苦勞をお掛けしたことと思ひます。

改めて、皆様のご協力にお礼を申し上げます。

残念ながら、本市を含む埼玉県は依然として緊急事態宣言の対象区域であり、感染の再増加が懸念される状況です。春を迎え、例年であれば、様々な行事が行われる季節ですが、飲食を伴う、花見、謝恩会、歓送迎会などはお控えいただきますようお願いいたします。

4月5日の週に、高齢者向けのワクチンが本市に配分されることとなりました。まずは、重症化リスクが高いと言われている、高齢者施設の入所者を対象に接種を進めていきます。

本市は、今後も全力で感染症対策に努めてまいりますので、皆様も共に、前に進んでいきましょう。